

## webカメラによる工事現場確認



webカメラを現場内に設置し、現場事務所で作業状況を確認することで、①現場確認の迅速化、②移動時間の削減、③現場の安全性向上など、様々な面で効率化につながっています。

## 動画による安全教育(新規入場時)



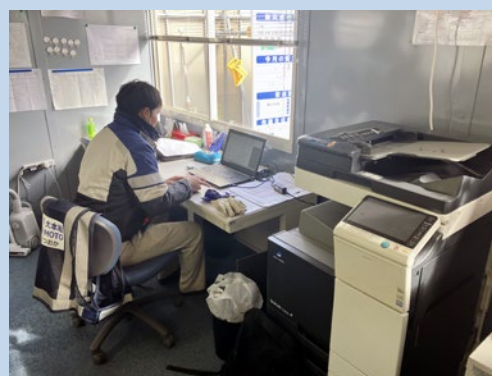
これまでは当社職員や作業班のリーダーが資料と口頭で新規入場時の安全教育を実施していましたが、この一部を動画化することで教育の効率化と理解度向上につながっています。

## ビジネスチャットアプリの導入



ビジネスチャットアプリ「direct」を導入することで、情報セキュリティを確保しながらコミュニケーションを高度化しています。特に現場での写真や動画のやり取りが、時短に大きな効果があります。

## PC作業環境の充実



土木部門では作業エリアが広く移動距離が長くなるケースがあります。こういった場合、各所に設けた現場詰所にプリンターやモニター、山間部では衛星通信等も導入して作業環境を整備しています。

## 所属長対象 管理職マネジメント研修

対象者数 全作業所長・課長他 55名  
12月、2月、4月、7月 全4回で実施



建築部門では2023年12月から「管理職マネジメント研修」を開催。多くの企業・団体へコンサルティング実績を持つ株式会社ワーク・ライフバランス様に講師をして頂いています。「ソフトマネジメントの必要性～部下のやる気を引き出して、よりチームの生産性を高めるために～」をテーマとした全4回の講義で、傾聴スキル・ハラスメント・本音を引き出すコミュニケーション・具体的な面談手法などを学んでいます。受講者からは「不慣れな面談は緊張したが部下の本音を聞けて良かった」、「コミュニケーションは、こちら側（聞く側）の様子や態度が重要だと分かった」など、気付きの多いコメントが多数。コミュニケーションの重要性を体感できました。

## ミドルマネジメント層対象 管理職マネジメント研修

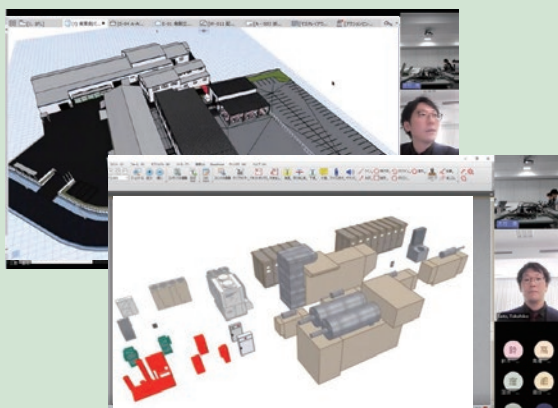
対象者数 全作業所・各部署のミドル層 29名  
4月、6月、7月 全3回で実施

前述の研修を受講した所属長から「管理職マネジメント研修」の高評価を頂き、「次の世代へも早く、この研修を開催して欲しい」と要望を受け、4月から、延べ3回セットの「ミドルマネジメント層対象 管理職マネジメント研修」を開催しています。自らが経験した「理想の上司」を目指し、講義と宿題に取り組んでいます。



## 第2回 BIMコンサルティング 成果発表会

対象者数 18名  
発表者数 14名



建築本部 設計部では2022年6月からBIMコンサルティングを受講しています。コンサルティングはArchicadのソフトウェアメーカーであるグラフィソフトジャパン株式会社様に依頼しています。1年間を通して担当物件の検討業務などでトレーニングし、2回の発表会（中間発表と成果発表会）を開催しています。発表会前は、共有資料や説明コメントの作成が大変ですが、BIMによってどのような効果が得られ可能になるのか、あるいは現時点では出来ない事などを共有することができ、業務の効率化や提案力向上に効果を感じています。BIM実用化を目指して施工部門とも連携し、設計部一丸となって取り組んでいます。